



## 「飯豊連峰

### 山菜真っ盛り釣行」

釣行日 2023. 5. 13~14

参加者 寺尾、齊藤

レポート 齊藤

良い季節です。って何が？酒がうまい、釣りが楽しいのはいつもとしても、食える草がふんだんにある  
と言えは今でしょ。

と言うことで怪友(?)の寺尾さんを誘って秘蔵の場所へやってきました。

何と山菜をぽつりぽつりと折りながらお散歩気分です平坦な山道を歩くこと1時間弱。

当然、お魚なくしては釣りに来たとは言えないのでそれも大前提です。

「さいとうさん、私を食べて見て」と迎えてくれたウドとワラビ。



どうだ！！ 俺様にかかれば



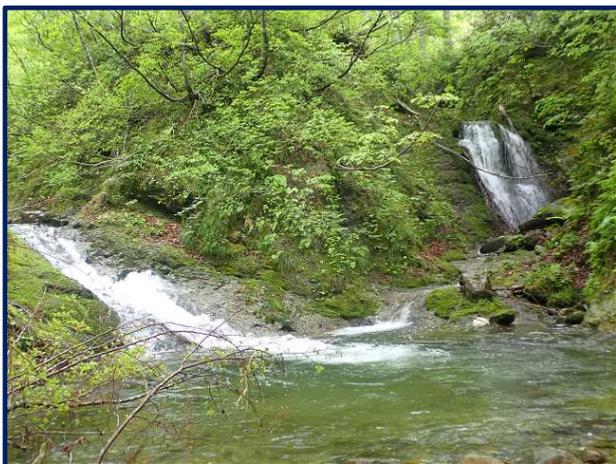
今日食べる分はもういっしょ。と言うところで目的地のテン場へ。  
ここはその昔、伐採のトラックが行き来する林道が、走っていたところで集材場所なのか平らにならされていて居心地も抜群。  
薪が乏しいと言えそうですが、1年に1回来るタイミングだと一旦燃してしまった流木が、翌年には復活して困ることはない。  
まずは2日間の焚火イベント用に薪を集めて川原から一段上がった平らな段丘に今宵の宿を設営、まずは麦酒でのどを潤し、釣りへ。



しかし、テン場前から釣り上がるが、どうも今年はいつもと様相が違います。  
昨年8月の大水の影響と思われる痕の山抜けや石が流されて落ち込みが少なくなって全体に平坦になってポイントらしいポイントが、ありません。  
そんなことでお魚の出がいませんでここしかないだろうと言うポイントで7寸程度を1匹掛けたのみ。  
最後の望みで挑んだ滝つぼも随分と浅くなるが、白泡の切れ目に流すとすーっとラインが動き、飲ませたら可哀そうと早めに合わせたら水面から頭を出したと思ったらぼちゃんと落ちてさようなら。

ま、どうしても岩魚を釣らなきゃと言うこともなし、もう充分。  
後から着いてくる寺尾さんも「もうテン場戻って酒飲ませろビーム」を浴びせてくる。

ぼちゃん と落とした滝



水流がぐるぐる渦巻いてできた自然の造形美



いつものようにシラネアオイが満開でした



残雪のある場所ではカタクリも丁度良い時期です



まだ9時だと言うのに始まっちゃってます。

タラの芽は定番の天ぷらで



ウドはきんぴら



しゃきしゃきウルイ、もみじ傘&生ハムサラダ



貴重な1匹はお刺身で



宴もたけなわ、焚火も絶好調 赤ちょうちんも良い塩梅です。



朝起きると今日も快晴、マザーツリーも良い感じです。

さあ、飲んで食べて帰りは山菜をお土産にいただいてあっという間の2日間でした。



初夏の小川はさらさらいくよ♪  
岸のニリンソウやトチの花に♪



寺尾さん、「来年また来ませんか？」

「だな～、ここなら年をとってもまだ来れそうだし」